



Title	復帰準備（対内）（政府調査団派遣等） - 防衛庁、防衛施設庁 - (3)(山上防衛施設庁長官の訪沖 外務省外交史料館レファレンス番号 : H220857)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(2)No.3 公開日 : 平成22年11月26日 外務省外交史料館管理番号 : B'5.1.0.J/U24 CD・DVD番号 : H22-006
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43393
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

山上防犯施設が長官、訪沖

秘
無期限

アメリカ局長
参事
安全保障課長
北米第一課長

防衛施設庁長官の訪沖に因り
琉球新報の報道につき

45.5.21
米北

山上防衛施設庁長官が6月中旬沖縄
を訪問する旨の5月19日付琉球新報

記事(右取組)に於て、21日同庁
長官の訪沖に際し、照会したところ

下記のとおり、同記事は概ねの通り
なり。Y-2も不明との由である。

山崎長官。

記

GA-5

外務省

1063

1. 山上長官の訪沖計画は現在のところ
何となく進んでいる。嘗て3月頃、長官

は訪沖に現地事情を直接把握し
たいとの意思を示している。2日間の

日程の計画を造り出すことが、あつたか
国会等の関係もあり、取りやめた経済

的あり。結局の所、訪沖の級を消す
に付している。

2. (中略防衛施設庁長官の訪沖につき、米北
記事の論拠は、この通り)

中略長官の訪沖計画は、この通り
なり。兼(防衛省)を中心として(防衛

省)の人と名づける由、これ、長官の意向の
部員及び防衛施設庁のスタッフを加え、自

GA 6

外務省

衛隊機、2 新沖了とい計画がある
と計画している。二ヶ月復帰後9月

衛隊の沖縄への展開計画を案出した
のが主目的で、防衛施設庁は之が

時期尚早であるとい消極的であり、防
衛部は参加しない(建設部は1名参

加するがそれ以外)方針である。

防衛施設庁長官も来月訪沖
雇用形態などで懇談

【東京】防衛施設庁長官は、このほど来月中旬にも沖縄を訪問することを明らかにした。また中曽根防衛庁長官も国会終了後の訪米途中、訪沖を三回以上はしていることから、あけ前後に防衛関係のトップ・クラスが沖縄を訪れることになるであろう。

防衛施設庁では、沖縄の海軍補給基地の重基地、雇用関係などの事務を一手に引き受けることになる方針を定めて、この四月には本土政府としてはじめての沖縄現地調査団を立ち上げ、その報告もほとんどまとまった。そのため、山土長官としては、渡米後の沖縄防衛施設関係の調査、土地契約、雇用形態の切り替え、基地の整理統合などに備えて、現地関係者と懇談するため訪沖を決めた。

なお、沖縄基地調査の報告は、今月末ごろ発表される。

48.5.19 (1) 琉球新報 (1面)

三
月
九
日